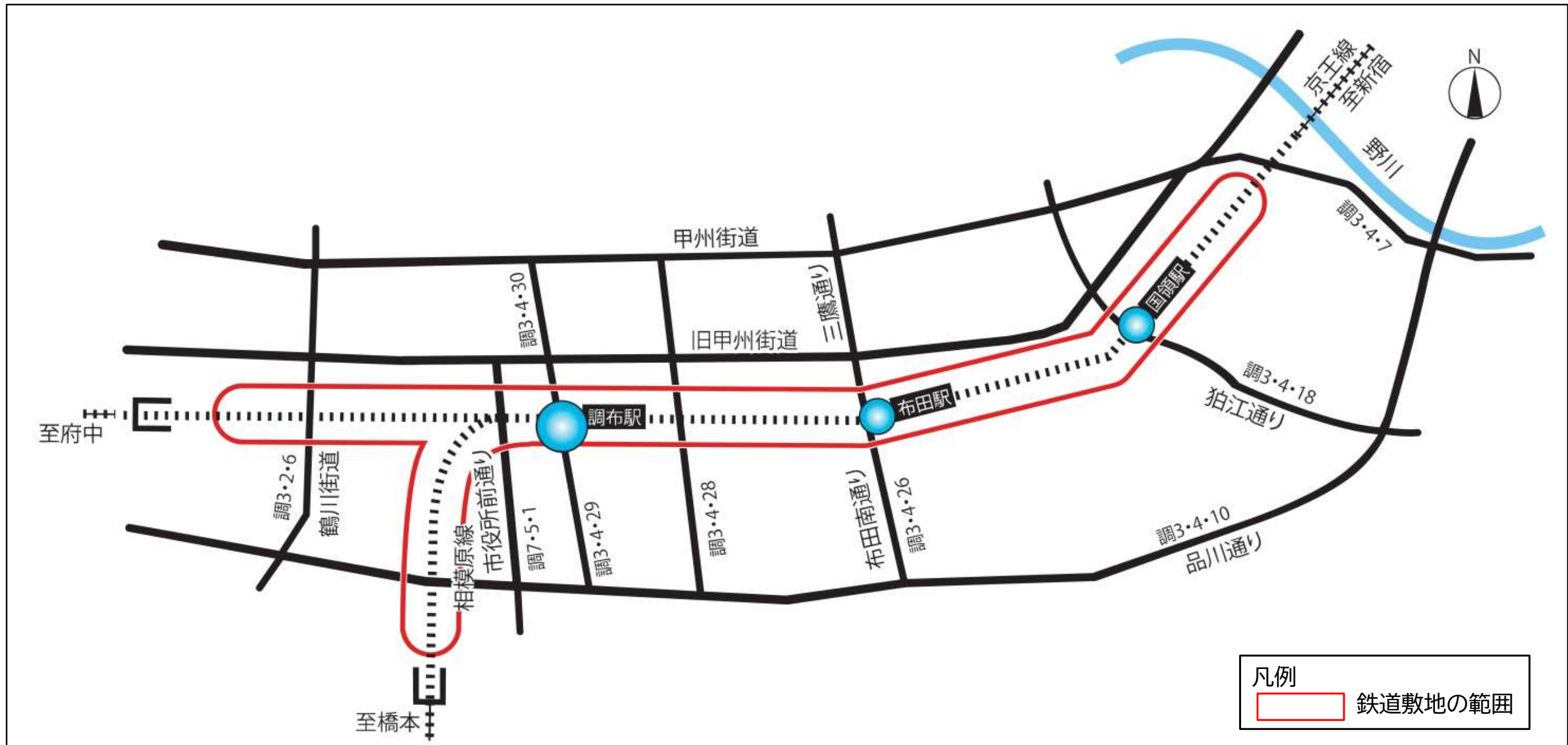


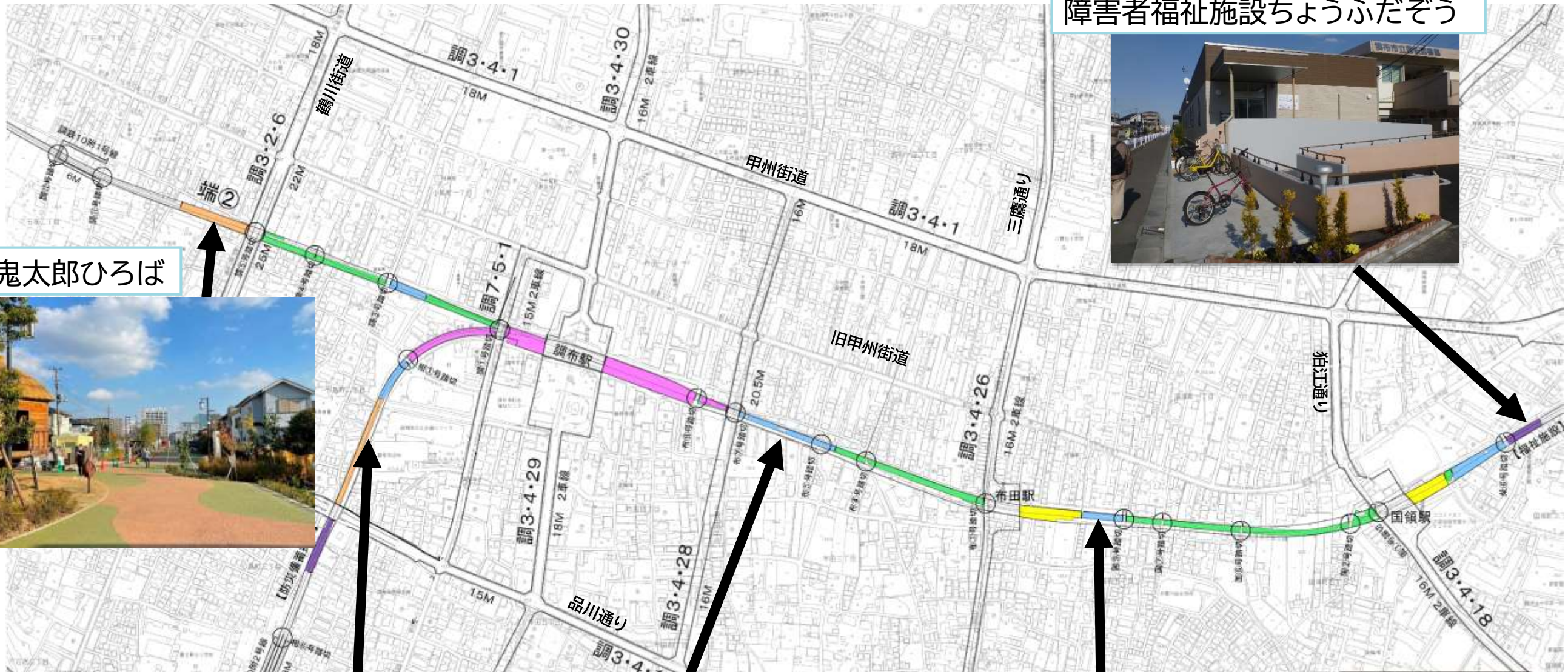
鉄道敷地とは

鉄道敷地とは、京王線の地下化によって創出された、調布・布田・国領3駅の駅前広場と各駅をつなぐ線路跡地のことを示します。市は、貴重な都市空間である鉄道敷地を有効に活用し、にぎわいや交流，うるおい，やすらぎのある都市空間として整備に取り組んでいます。



これまでの整備内容

鉄道敷地については、市民の皆さまのご意見を伺いながら、都市公園や自転車駐車場等の整備を進めて参りました。今後は順次「緑道」の整備に着手する予定です。



障害者福祉施設ちょうふだぞう



鬼太郎ひろば



鉄道敷地公園(相模原線)



調布駅東側 自転車等駐車場



布田駅東側 自転車等駐車場



凡例

- 都市公園等
- 緑道、生活道路等
- 自転車駐車場等
- 駅舎施設
- 商業施設等
- 公共施設等
- 連立解消踏切

これまでの経緯

年度	経緯
1999年度（平成11年度）	中心市街地街づくり総合計画の策定
2002年度（平成14年度）	鉄道敷地利用検討会の発足
2004年度（平成16年度）	地上利用検討会の発足 鉄道敷地利用検討会から「鉄道敷地利用に向けての提言書」の提出
2006年度（平成18年度）	地元勉強会や市民アンケート, 子ども向けアンケートの実施
2009年度（平成21年度）	中心市街地デザイン・コンセプト策定
2011年度（平成23年度）	調布, 布田, 国領駅前広場等検討報告会の実施, 鉄道敷地利用基本方針図(案)の公表
2012年度（平成24年度）	京王線が地下化, 鉄道敷地利用基本方針図(変更案)の公表
2014年度（平成26年度）	鉄道敷地利用計画図の公表, 鉄道敷地利用のゾーニングを一部変更及びスケジュール案の公表
2015年度（平成27年度）	鉄道敷地近隣の商店会, 自治会等との意見交換会や「鉄道敷地ミーティング」を開催 鉄道敷地の整備に関する基本的な考えを定めた「鉄道敷地整備計画」を策定
2017年度(平成29年度)	「鉄道敷地の整備に関する説明会」を開催

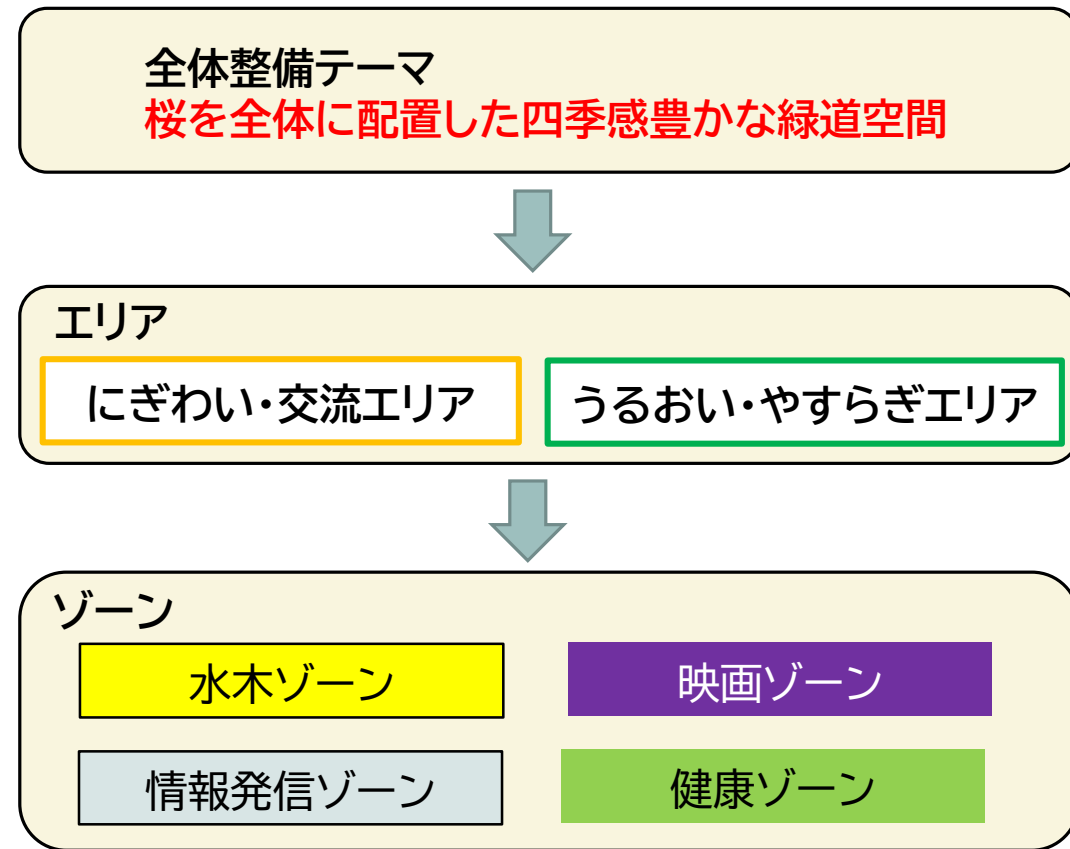
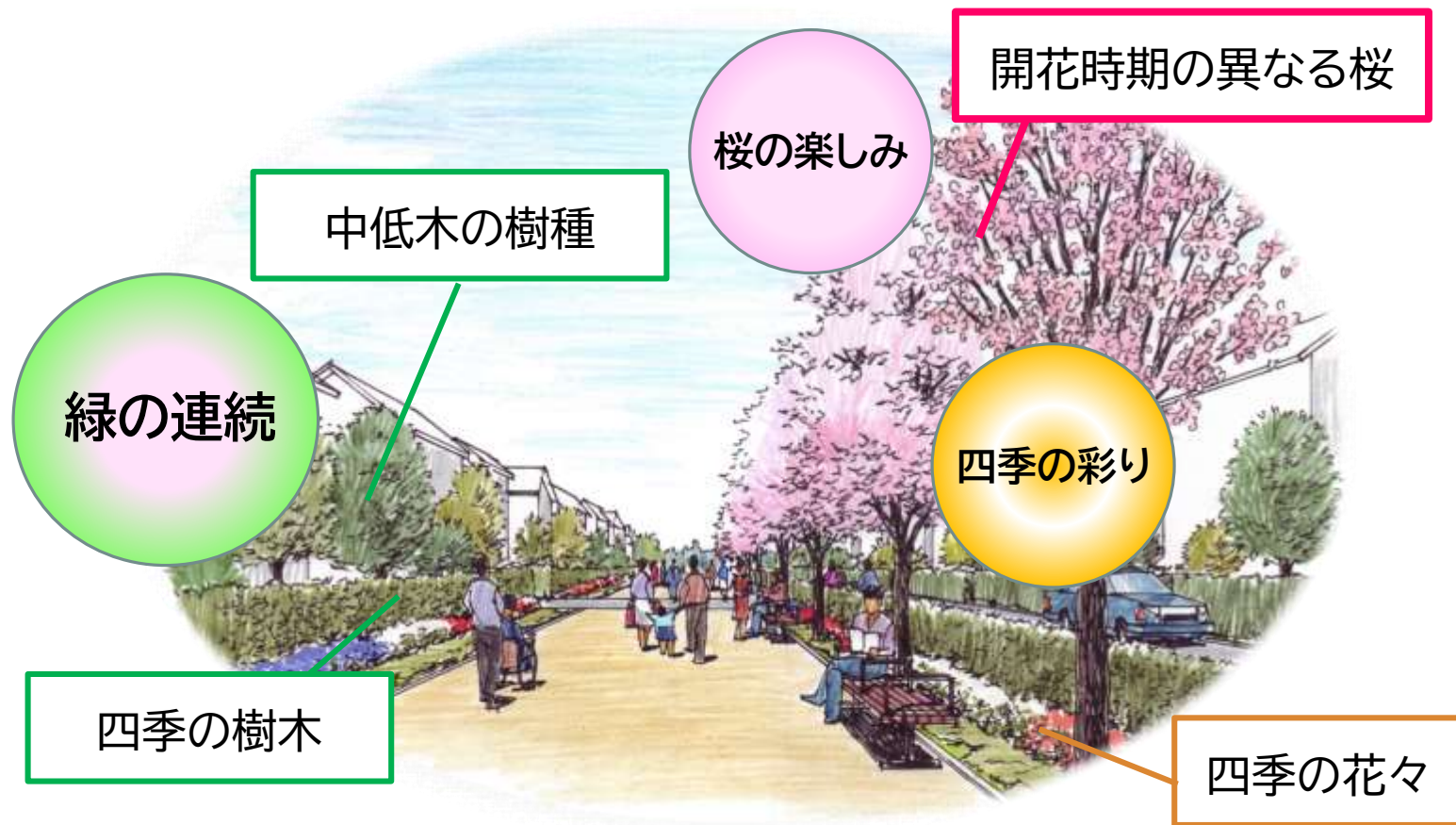
※以下, 区間Bの経緯のみ記載

2020年12月(令和2年度)	「鉄道敷地整備に関するオープンハウス」を開催 12月1, 2, 6日 調布市グリーンホール(小ホール)及び 調布市市民プラザあくろす(あくろすホール)
-----------------	---

➡ **2023年(令和5年)3月3日, 4日** オープンハウスの開催

鉄道敷地整備計画について

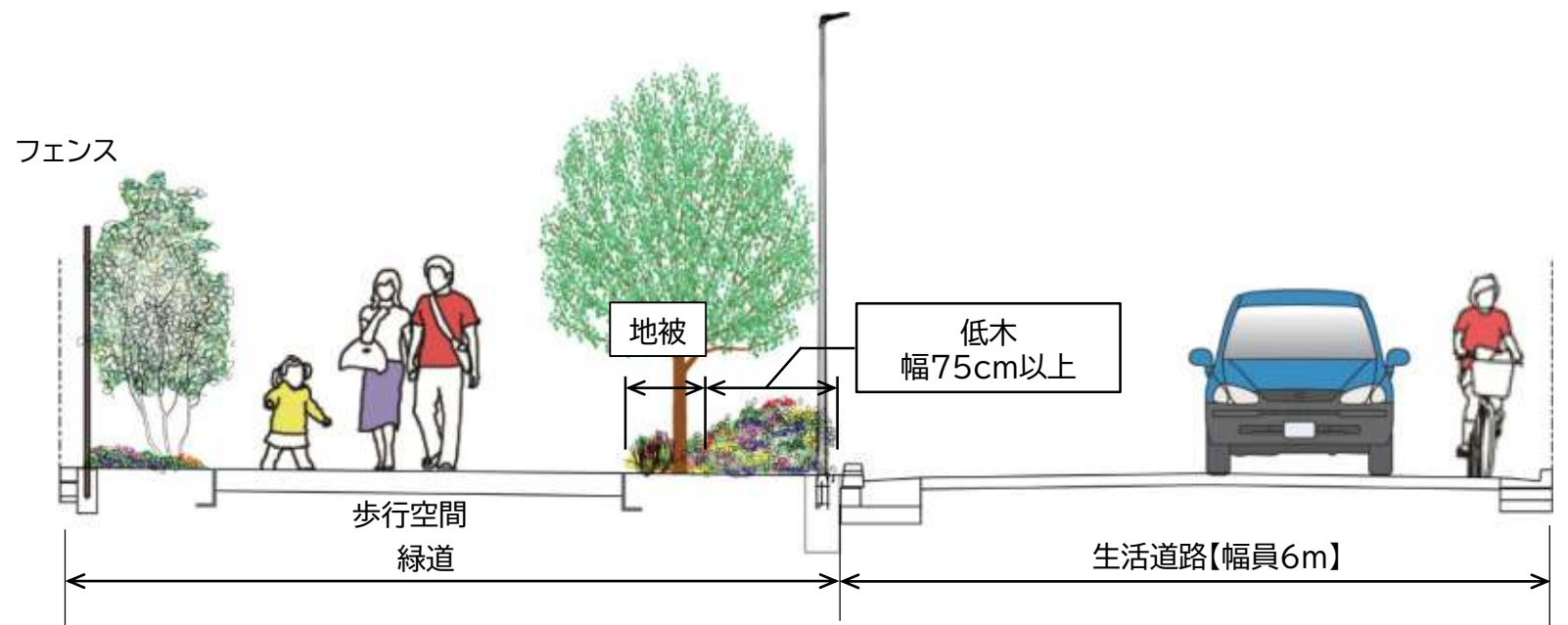
■平成28年3月に「鉄道敷地整備計画」を策定し、緑道全体の整備テーマを決定しました。
 全体整備テーマ：**桜を全体に配置した四季感豊かな緑道空間**



■緑道の整備イメージ



緑道の整備イメージ



断面イメージ

鉄道敷地整備計画における各エリアと各ゾーンについて

「鉄道敷地整備計画」では、調布駅周辺を「にぎわい・交流エリア」、布田駅・国領駅周辺を「うるおい・やすらぎエリア」に設定するとともに、エリアに合わせてゾーンを設定しました。

【にぎわい・交流エリア】

調布駅周辺は、市役所や文化会館たづくりなど市の主な公共施設、業務・商業施設などが集積しており、人々が集い、活気とにぎわいのある地域特性から地域資源を活用した魅力ある中心市街地を創出する。

【うるおい・やすらぎエリア】

布田駅・国領駅周辺は、緑地や農地などの自然と住環境が調和した良好な市街地を形成するために、緑豊かな都市空間を創出する。



■各ゾーンの概要

水木ゾーン

- ・地域資源の魅力の向上と積極的な活用により、市民がまちに愛着と誇りをもち、多くの来訪者からも訪れたいと思われる、にぎわいのあるまちづくりとして市の地域資源である水木キャラクターを活用する。
- ・京王線開通当時の旧調布駅舎が位置していたことや、隣接してシネマコンプレックスが建設されたことから、鉄道・映画・映像関連をイメージしたデザインについても活用する。

映画ゾーン

- ・調布市の特性である映画・映像関連企業が市内に立地していることや、調布駅周辺には多摩地域最大級のシネマコンプレックスも建設されたことから、「映画のまち調布」の特色を活かした、調布のまちの魅力の向上、地域活性化を図る。

情報発信ゾーン

- ・調布市及び鉄道敷地のほぼ中心に位置する地理的特性から、調布のまちの様々な魅力を市内外に積極的に発信する場とする。
- ・にぎわい・交流エリアとうるおい・やすらぎエリアが重複する区間でもあることから、2つのエリアが途切れるのではなく、融合し移り変わるような空間として、都心の緑空間を基本とした人々が集えるスペースなどの創出を行う。

健康ゾーン

- ・都市の緑を積極的に創出するための緑化につながる活動を支援するとともに、緑豊かな都市空間を散策しながら気軽に健康づくりが行える場を創出し、市民の健康づくりへの活動を支援する。

鉄道敷地整備計画における各エリアと各ゾーンについて



全体整備テーマ **桜を全体に配置した四季感豊かな緑道空間**

エリア

にぎわい・交流エリア

うるおい・やすらぎエリア

ゾーン

水木ゾーン

映画ゾーン

情報発信ゾーン

健康ゾーン

区間B(情報発信ゾーン)の整備(各仕様について)(1)

◆緑道の出入口

- ・緑道から生活道路にアクセスできる出入口を設置することで、通行の利便性を向上させる。
- ・出入口付近には、急な飛び出し等を防止する車止めを設ける。
- ・車止めは「福祉のまちづくり条例」に基づき、車いすの通行に支障のない配置とする。

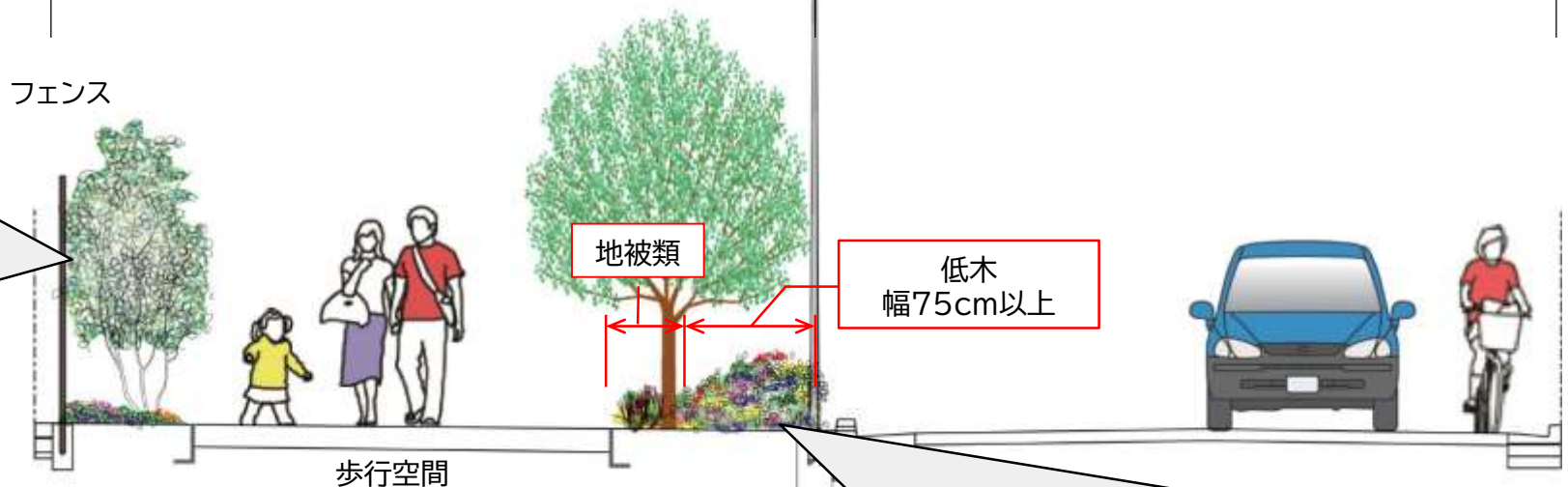
◆平面図



◆フェンスの設置



- ・防犯上やプライバシーの観点から、安全安心のため、民地側にフェンスを設置する。
- ・緑道の連続性を確保する。



◆緑道と生活道路の境

- ・開放的な空間を演出するため、柵は設置しない。
- ・緑道から車道への飛び出し等を防止するため、幅75cmの範囲には低木植栽を行う。また、緑道側には地被類を配置する。

区間B(情報発信ゾーン)の整備(各仕様について)(2)

◆歩行空間と植栽帯の境



- 植栽部分との一体性を持たせるため柵は設置しない。



◆フットライトの設置



- 緑道内に点在させ、夜間における空間を演出する。
- 高さの低いものを設置し、景観を損なわない配置を行う。

◆歩行空間の舗装

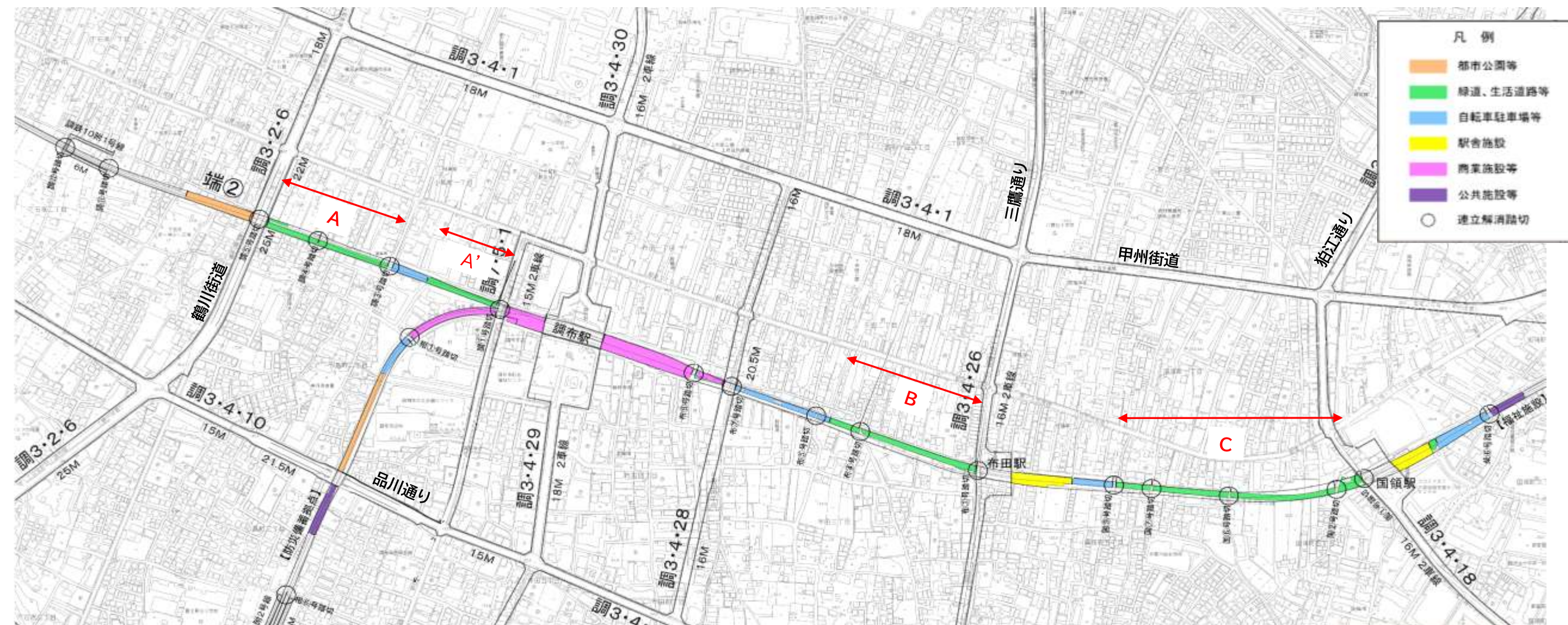
脱色アスファルト舗装



- 植栽の緑や花の色が映えるように、歩道の色は落ち着いた色とする。
- 人工的なものではなく植栽部分と溶けこむような自然な風合いを表現する。

今後のスケジュール(鉄道敷地全体)

■緑道整備スケジュール(予定)



	R 2年度	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度
A	実施済 市民参加	実施済 設計	実施済 市民参加 実施中 工事	工事(ベンチ) ・関連機関協議	工事(ブロンズ像)
A'			実施済 市民参加 実施中 関係機関協議 実施中 設計	用地・工事	工事(ブロンズ像・ パネル)
B			市民参加・設計	市民参加・工事	
C			実施済 市民参加(S3)	市民参加・設計	工事